

【特集】デジタルビジネス時代の人材育成

デジタルビジネス時代の到来

コンピュータだけでなく、あらゆる「モノ」にインターネットがつながり、世の中のデジタル化が進んでいます。モノのインターネット化はIoT (Internet of Things) と表現され、みなさんもよく耳にするのではないのでしょうか。

このようなデジタル化に伴い、我々の生活は変化し、より便利に、より豊かになってきています。

一方で企業は、デジタルテクノロジーを活用したデジタルビジネス^(*)への転換が求められています。

デジタル化により、新たな価値を創造し、ビジネスにイノベーションをもたらそうとしているのです。ドイツ政府が提唱した「インダストリー4.0^(**)」や、スマートウォッチなどのウェアラブル端末によるビジネスは、そのひとつの例でしょう。

米国Gartner社によるとデジタルビジネスの進展によって、従来の業務プロセスに携わっているワーカーの数は、2018年までに半減し、その一方で、**デジタル化に向けた業務が同時期までに現在の5倍以上に急増**していくと予測しています。

ここ2、3年がデジタルビジネスへの転換期と言えるでしょう。



(*) デジタルビジネス：

仮想世界と物理的世界が融合され、モノのインターネット (IoT) を通じてプロセスや業界の動きを変革する新しいビジネスデザイン (米国Gartner社による定義)

(**) インダストリー4.0：

ドイツ政府が主導し、産官学共同で進めている国家プロジェクト。工業のデジタル化によって製造業の仕組みを変革させる取り組み。その影響は各国に広がっている。

デジタルビジネス時代に必要な要素

デジタルビジネスへの転換といってもどうすれば良いのでしょうか？どんな人材が必要になってくるのでしょうか？

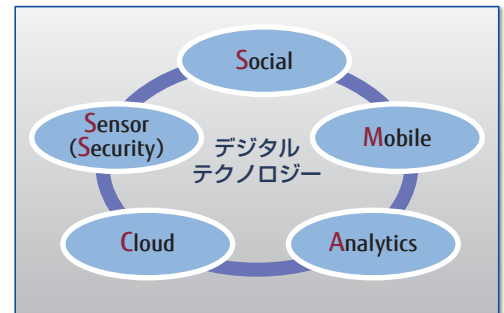
デジタルビジネス時代に必要な「技術」と「人間的要素」という観点でみていきたいと思います。

デジタルビジネス時代に必要な「技術」

デジタルビジネス時代に必要な技術はどのようなものがあるのでしょうか。

大きく5つあると言われており、「SMACS」と呼ばれています。

ソーシャル (Social)、モバイル (Mobile)、アナリティクス (Analytics)、クラウド (Cloud)、センサー (Sensor)^(*) の5つです。これらのデジタルテクノロジーは、単独で存在しているわけではなく、相互に関連することで大きな価値、新しい価値を生み出すことにつながっていきます。



デジタルビジネス時代に必要な「人間的要素」

デジタルビジネス時代では、デジタルテクノロジーさえ駆使できれば良いのでしょうか？

決してそうではありません。既存ビジネスの変革、新しいサービスの創造には、**顧客志向で、観察力に優れ、人間の判断や行動をしっかりと考えられる (デザインできる) 能力**も必要になってきます。

このような能力は「**デザイン思考**」^(*)と呼ばれ、ビジネスイノベーションに活用しようとする動きが活発になってきています。



(*) セキュリティ (Security) とするケースもある

(*) デザイン思考

米国のイノベーション・コンサルティング・ファーム、IDEO社が自社のアプローチを概念化したもの。

観察 (observation)、アイデア創出 (ideation)、プロトタイプング (prototyping)、ストーリーテリング (story telling) が一連のプロセス

求められる人材とは

これまでみてきたように、デジタルビジネス時代に必要な人材は大きく2種類あると言えます。SMACSなどのデジタルテクノロジーを駆使する人材、もうひとつは、デザイン思考など人間的要素を持ち合わせ、ビジネスに変革をもたらす人材です。

デジタルテクノロジーを駆使する人材

【必要となる主なスキル】

- ・ SMACSのうち2つ以上に深いスキルを持ち、SMACSをつなぎあわせる力
- ・ デジタルテクノロジーを理解し、顧客要件に合わせて、最適な技術の取捨選択をする力
- ・ 先端・新領域の技術を貪欲に修得する力

ビジネスに変革をもたらす人材

【必要となる主なスキル】

- ・ 顧客起点での価値をデザインできる力
- ・ 顧客の実際行動から動機を推察できる力
- ・ 顧客価値起点でビジネスモデルを構築できる力
- ・ 変革のビジネスビジョンを構想できる力

さらに言うと、これからの企業にはこれら2つを併せ持つ、デジタルテクノロジーを駆使して、新たな価値（イノベーション）を創造できる人材が必要になってくるでしょう。

デジタルテクノロジーにより新しい価値（イノベーション）を創造する人材

【必要となる主なスキル】

- ・ 顧客価値の実現のために最適なデジタルテクノロジーを組み合わせるアイデアを構想できる力
- ・ デジタルテクノロジーを活用したイノベーションアイテムおよびその適用方式を設計できる力
- ・ 実装に必要な技術力を保有する技術者とのコラボレーションが図れる力
- ・ 実際に提供するデジタルテクノロジー製品やサービスのプロトタイプを構築できる力
- ・ 価値実現のためのマネジメント力



続々とリリース予定！デジタルビジネス人材育成コース

当社では、デジタルビジネス時代の人材育成に積極的に取り組み、関連コースを続々とリリースしていきます。

デジタルテクノロジーを駆使する人材

IoTシステム開発実践 (Azure編)

SMACSをつなぐ

事例から探るデジタルテクノロジーの勘所

デジタルテクノロジーの取捨選択

※SMACS関連コースは多数提供中（一部抜粋）

- Social : Marketing Cloud : Social Studio (UBC32L) **New**
- Mobile : 体験！モバイルアプリケーション開発 (UFN38L)
- Analytics : R言語によるデータ分析入門 (UBS51L)
- 体験！ビジネスインテリジェンス
～さわってナットク！BIツール～ (UBE03L) **New**
- Cloud : クラウド技術の基礎 (UBS34L)
- Sensor : IoT入門 (UIT01L)

ビジネスに変革をもたらす人材

デザイン思考 応用編

顧客価値デザイン

明日から使える！フィールドワーク・インタビュー技法

行動観察

明日から使える！行動・感情分析技法
(カスタマージャーニーマップ)

顧客体験の可視化

明日から使える！サービス価値デザイン技法
(バリュープロポジションキャンパス)

提供価値の可視化

※ビジネス変革関連コースは多数提供中（一部抜粋）

- ・ デザイン思考の基礎 (UAF25L)
- ・ Business Co-Creating Workshop (UAF38L)

デジタルテクノロジーにより新しい価値（イノベーション）を創造する人材

体験！アイデアソン
～顧客価値の見つけ方～

アイデア構想

体験！ハッカソン
～イノベーションの種をカタチにする～

プロトタイプ構築

デジタルビジネス時代に求められる
マネジメント力と発想力

価値実現のマネジメント

※上記のコース名は予定であり、今後変更になる可能性があります。